

令和5年度都立赤羽桜高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・国語で理解する基礎的な力の定着 ・主体的な言語活動の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する ・グループ活動、調べ学習、発表等、自ら考え、課題を解決していく活動を積極的に取り入れる	・授業の振り返りを行い、身についた力を自覚できるようにし、一人一台端末を活用し、生徒の実態に合った課題を設定する ・授業に臨む準備や姿勢、自ら活動に取り組む態度を積極的に評価していく ・漢検受検や各種コンテストへの参加を積極的に促していく
社会	思考力・判断力・表現力を重視した指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
数学	・基礎基本を定着させる ・自ら問題に取り組ませる	・4月の教科会で年間授業計画について共有し、指導項目について確認する ・家庭学習を定着させるために、課題を積極的に課していく	・課題の出し方・授業評価の方法については統合型学習支援システムを有効活用していく ・思考力を要する問題については、解答までの手順を明確にし、ステップを適切に踏むことで解けるようにする
理科	基礎・基本の定着 体験的な学習活動の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有し、重点課題について確認する ・基礎・基本の定着を図るとともに、観察・実験を効果的に行い、体験的な学習活動を充実させていく	・基礎・基本の内容をベースとして、科学的な視点から思考・判断・表現するような課題を取り入れる ・各科の特性に合わせて、発展的な内容にも積極的に触れる ・観察・実験の考察結果をまとめるだけでなく、生徒同士が交流して思考を深められるような指導を行う
英語	「基礎・基本」の学習 積極的に話す指導の充実	・4月の教科会で、今年度の重点指導項目を確認する ・外国人講師と連携し、生徒が英語を話すことへの苦手意識を無くしていく ・定期的に単語テストを実施し語彙力の向上を図る	・基本的な文法事項を習得しているかについて繰り返し確認する授業の実施 ・考查を実施した後に、生徒の習得状況を考察し、その後の授業の改善に活かす
芸術	知識・技能の定着 表現力を身に付けさせる	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する ・グループ活動、実技を積極的に取り入れ、発表する	・演奏・作品の発表をととして、授業の振り返りを行う ・身についた力を自覚できるようにし、生徒の実態に合った課題を設定する
保健体育	健康の保持増進と体力の向上	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する ・グループ学習で自ら考え、課題解決していく活動を取り入れる	・基本的な運動技能を身に付け、運動する楽しさや喜びを味わえるようにし、グループ学習で課題解決や主体的な学びを促していく。 ・授業に臨む準備や姿勢や主体的に取り組む態度を積極的に評価していく
情報	他教科と連携を図り、様々な問題解決を図る力を身に付けさせる	・探究活動の基礎・基本の定着を図る ・グループ活動、調べ学習、発表等、自ら考え、課題を解決していく活動を積極的に取り入れる	・プログラミングに関する外部教材を取り入れ、プログラミングスキルを身に付ける ・生成AIなどのコンテンツについて、文部科学省のガイドラインに沿って有用性や将来の職業に結び付けながら考える ・情報系検定試験への挑戦
家庭	「実践的・体験的」な活動を通した家庭科教育の充実	・4月の教科会で年間授業計画について共有し、指導項目について確認 ・民間OB、大学講師等を招聘し、課題解決に向けた取り組みとプレゼンテーションの実施	・各種コンテストに挑戦 ・保育園児を対象とした縁日の企画開催 ・企業や地元商店街と連携した商品開発
調理	調理師免許取得に向けた知識・技能の定着と、主体的・対話的で深い学びの実現	・4月の教科会で年間授業計画について共有するとともに指導項目について確認し、共通認識をもつ。 ・課題解決型の授業の充実と創造力・表現力の育成	・調理師免許取得後のキャリア形成のための技術考査合格 ・文化祭等での手技披露 ・地域の食育フェアへの出展 ・近隣企業でのインターンシップの実施 ・おせちプロジェクトによる商品開発 ・地域企業へのレシピ提供 ・コンテスト、コンクールに挑戦
福祉	介護福祉士国家資格取得と知識・判断力を培い、尊厳ある介護技術を身に付けさせる	・4月の教科会で年間授業計画について共有しするとともに指導項目について確認し、記録に残す ・実習指導者・外部講師等と連携し、実践的な学習を展開する	・介護実習及び介護総合演習による実践力の養成 ・地域交流やボランティア活動 ・福祉検定及び各種コンクールにおける自己啓発